山形市市民活動支援センター連絡協議会　第５回懇談会　議事録			
日時	平成 24 年 8 月 26 日午後 3 時～4 時 30 分	場所	山形市市民活動支援センター会議室 B
出席者	池田、大場、手塚、野川		
来賓	山形市企画調整課：岩田課長、共創係　杉本係長　／山形市市民活動支援センター：齋藤所長		
欠席	堀越、吉田、齋藤（淳）、千川原		
記録	事務局：佐藤		

懇談内容

・山形市企画調整課から岩田課長と杉本係長に、山形市市民活動支援センター（以下、センターと表記）から齋藤所長にお越しいただき、山形市市民活動支援センター連絡協議会（以下、協議会と表記）のあり方について、当会理事と意見交換を行った。各出席者が意見を述べた。

１、山形市から見た協議会について
・連絡協議会は意見の集約、横の連携等、重要な役割を果たしている。
・総会や円卓会議は、様々な意見を行政に対して言ってもらえる機会と認識している。
・やまがた市民活動まつり（以下、まつりと表記）は、行政主導では、これほど生き生きと行えない。自主的であるからこその魅力がある。開催場所も一般市民から広く見てもらえるパブリックなスペースを使っており、素晴らしい取組みと思っている。

２、センターから見た協議会について
・連絡協議会とセンターはいい関係になっているが、緊張関係を保つことも必要と認識している。
・センターと協議会が同一の組織と見られてしまう場合が多い。お互いにデメリットと思われる。
・センターに依存するのではなく、自主的な組織として自立してもらいたい。

３、協議会についての認識の確認
・協議会は、センターに登録している団体の有志が、互いの交流と連携・センターの利用の利便性の向上などを目的として、自主的に結成した団体である。
・協議会の目的は、親睦、センターへの提言、市への提言の３つである。
・事業として、市民活動まつりや円卓会議などを開催している。

４、協議会の事業について
・市やセンターと協力して進めていきたいと考えている。
・山形市企画調整課やセンターに生の声を届ける機会が懇談会や総会だとすれば、理事は重要な位置におり、責任を感じる。
・協議会はまつりだけしかしないという話もあるが、まつりを継続してやっているだけでも素晴らしいことと認識している。

５、会員との情報共有について
・なるべく多くの団体に協議会に入ってもらい、声を集めていく必要がある。
・課題として、近頃、総会や円卓会議などの事業に参加する会員の数が少なくなってきた。
・情報発信不足のため、理事団体の声が伝わっていない可能性がある。
・協議会のホームページに、今年度からは、理事会の議事録なども掲載していきたい。

６、事務局について ・事務機能のどの部分までを事務局が担うのかを明確にし、事務の役割分担が必要と思われる。	
配布資料	・次第